

私は現時点ではまだ将来の夢は決まっていなかったが、2020 東京オリンピックの通訳や運営ボランティアを含め漠然とだが 3 ヶ月後、1 年後、2 年後と近い未来にやりたい事が沢山ある。私自身様々なことに興味を持つが、挑戦するとなると自ら進んで行くことができない性格を変えたいと思っていたが、その一歩が踏み出せずにいた。そんな中、失敗してもいい、1 日の中で朝の失敗はそこまで影響しないと教えてもらった事により、今出来ること、やりたいことをやってみようと思わせてくれたとても有意義な時間を過ごせました。(神田外語大学学生)

メカニカル・アーツとリベラル・アーツの比較を自由七学芸などの観点から学べたことは、スポーツだけに限らず今後生きる上で教養として生かすことができれば第一目に参加した意味があるのかなと思いました。このようなプログラムに参加することができ、非常に光栄です。(慶応義塾大学学生)

オリンピックについての基礎知識から、グローバルな人間になる為にはどうしたらいいのか、音楽とグローバリゼーションなど、上智大学に所属しているだけでは聞くことが出来ない講話を聞くことが出来て、新たな視点で考えることができるようになった気がする。私は、2020 年の東京オリンピックでボランティア活動に参加したいという思いがあり、今回このプログラムに参加したが、これは私たちだけではなく、ボランティアに参加する人全員に聞いて欲しいぐらいになるお話ばかりで、本当に参加できてよかったと思っている。(上智大学学生)

人生は 24 時間。この例えは初めて耳にしました。まだ、皆さんはお昼も来てませんよ、という朴先生の言葉がとても胸に刺さりました。個人的な話にはなりますが、午前中は失敗ばかりでした。しかし、まだ昼も来ていないうえに午後に 12 時間もある。そんなポジティブな気持ちでこれから時計の針を自分で進めていきたいと思います。(筑波大学学生)

個人的に朴先生にお話がとても心に響いた。私のなかで「夢」は「〇〇になる」といった具体的なものでなくてはいけないうえかと思っていたが、朴先生の「夢」を聞いて、私自身が思っていることも「夢」なんだと肯定的に思えることができた。また、後日 VAK テストを 2 つほど実施してみたところ、私は耳と体験型が強い傾向に出たので今後の参考にしていきたい。どの先生のお話も後半～終盤にかけてとても興味深かったが駆け足で終わってしまった印象がとてもある。2 日目以降の講義では後半～終盤部分をじっくりお聞きすることが出来たらと思う。(立教大学学生)

自分がこれからどのように活躍していけるのかについて深く考えさせられた。いまの自分が何をできるようになりたいのかという明確な目標がないので、今から考えて行こうと思った。英語が世界では普通に喋られるようになってきているのか、私はもう一つ言語をやりたいと強く思った。また、過去のオリンピックから 2020 東京オリンピックのために学んでいけることを知った。(早稲田大学学生)